

トコロん学力向上プロジェクト事業



学習の「振り返り」について知ろう！

? 「振り返り」ってなに？

「振り返り」とは、授業で学んだことを確認したり、考え直したりすることです。授業の終わりに、文章にして自分の言葉で表現するなどします。



? 「振り返り」は、なぜ大切なの？

振り返りをすると、学習内容がよく身につくようになります。また、自分の学習を調整する力や、学習に向かう力を高めることにもつながり、次の学習のステップとなります。さらには、子供のうちから自分自身を振り返る能力を身に付けることで、普段の活動や、趣味のこと、大きくなってからの仕事のことなどで、自然と振り返りをしながら取り組むことができるようになり、自分の生活をよりよくすることにつながります。



学習だけでなく、仕事やスポーツの世界にも、「振り返り」を大切にして活躍している人がたくさんいます。人間が進化を遂げた理由の一つは「振り返り能力」をもつことができたからだという考えもあります。



どんなことを「振り返り」すればいいの？

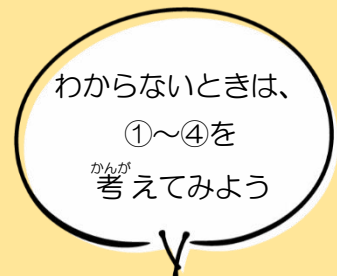
「振り返り」では、必ずこれを考えなくてはならないというものはありません。自分が学んだことをよく思い出しながら、感じたことや考えたことを書いたり、話したりして自分の言葉で表現しましょう。よくわからない場合は、大きく4つのことを考えてみましょう。

① 学習で取り組んだこと

- ・ どのような学習をしたか。
- ・ 自分はどのように取り組んだか。(頑張ったことや努力したこと)

② 学習の成果

- ・ わかったことや、わからなかったこと。
- ・ できるようになったことや、できなかったこと。
- ・ 自分が成長したと思うこと。
- ・ 学習したことで新しく出てきた不思議や疑問。



③ 考えが広がったり深まったりしたこと

- ・ 友達の考えや意見と同じところや、違うところ。
- ・ 学習をして、新しく知ったことや気づいたこと。



④ 学習のつながり

- ・ これまでに学んでいたことと、今回学んだこととのつながり。
- ・ 学んだことをどんなことに生かしていきたいか。